



種別	国指定 天然記念物
名称	しもきたはんとうのさるおよびさるせいそくほくげんち 下北半島のサルおよびサル生息北限地
指定年月日	昭和45年11月11日
所在地	地域指定はむつ市、佐井村、個体は下北半島全域

下北半島のニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中で最も北に生息する個体群であり、学術的価値が高いと評価され指定された。ニホンザルはオナガザル科であるが尾が短く、10cmほどである。植物を主食としているが、枯木内にすむ昆虫やサワガニなども食する。

体毛は寒冷地では長く密に被われており、顔や尻は裸出し赤い。群れで行動するが、構成するのは成体のオスとメス、および子供と若者である。群れに入らないハナレザルがいるが、これは若いか成体のオスがほとんどである。